



身延清稜小だより

NO. 3

R2. 6. 26

校長 笠井安秀

学校再開 元気な子どもたち

5月25日（月）に学校が再開し、4週間が経ちました。この間、体調を崩してお休みする児童もいましたが、先週には全員出席の日が増えてきました。

授業は、これまでと全く同じように進めることは難しい場面もあったり、水泳の授業ができなかったりしていますが、工夫しながら順調に授業を進めています。



全校で「プログラミング学習」が 始まりました

今年度から小学校でもプログラミング教育が始まりました。小学校のプログラミング教育の目的は、「身近な生活にコンピュータが使われていることに気づくこと」「論理的な考え方を高めること」「コンピュータを生活に生かそうとする態度を高めること」です。

これらの目的を達成するために、身延町では1年生から計画的にプログラミング学習に取り組んでいきます。

臨時休業が続き予定より遅くなりましたが、6月18日（木）に1・2・3年生からプログラミング学習が始まりました。初めての学習でしたが、子どもたちは目を輝かせながら、タブレットを操作していました。4・5・6年生の1回目は、29日（月）です。



フェイスシールド 全校分をいただきました

先日、南アルプス市の「ニッセイ株式会社」というクリアファイルなどを作っている会社から、全校児童・全職員分のフェイスシールドをいただきました。

「ニッセイ」様は、今回のコロナウィルスの感染予防のために山梨県内の学校に自社製のフェイスシールドを送ってくださいました。山梨県教育委員会は、それぞれの学校にすぐに配って分けてくれました（手分けして学校に直接持ってきてくれました）。本校ではちょうど6年生分をいただきましたので、6年生が使わせていただきました。

それまで、6年生は学校で作成した簡易フェイスシールドを授業で対面するときに使っていたのですが、いただいたフェイスシールドは使い勝手がよく快適に使うことができました。早速6年生は、「ニッセイ」様にお礼の手紙を書いて送りました。

6年生の書いた手紙を見た会社では社員全体で手紙を回覧してくれたそうです。わざわざ学校にも電話をいただき、さらに全校の人数分のフェイスシールドを送ってくださいました。

新型コロナウイルスは不安と恐れから人と人を分断してしまう力があります。

でも、人と人をつなぐ力もあることに気づきました。

ものが私たちの手に届くまでにはたくさんの人がいて、たくさんの方の思いが詰まっていることに改めて気づきました。ありがとうございました。



新型コロナウイルス 接触感染に注意！

手洗いの 6つのタイミング

- ① 外から帰ったとき
- ② 咳やくしゃみ、鼻水をかんだとき
- ③ ものを食べる 前とあと
- ④ トイレの あと
- ⑤ 外にあるものにさわったとき
- ⑥ そうじのあと

私たちは、無意識に手で顔（目・鼻・口）に触っています。

流水で15秒 → 100分の1、
ハンドソープ10秒 → 1万分の1、
10秒2セット → 100万分の1
にウイルスは減らせます。